

ピア・メディエーション Part 1 (〇〇祭の準備編)

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

目標：ロールプレイを通して、問題解決に導く調停人の言動を学ぶ。

【練習シナリオ】	【調停のポイント】
<p>【対立の場面】</p> <p>〇〇祭の準備中に、Bさんは座って他のクラスの子とおしゃべりをしている。 AさんはBさんに「Bさんもみんなを手伝ってほしい」と言いましたが、Bさんは「自分は手伝った」と言って、AさんとBさんがもめている。</p>	
<p>A： ちょっと、Bさん！</p> <p>B：何？</p> <p>C：ちょっと、どうしたの？何かもめてるの？</p> <p>A：Bさんは座っておしゃべりしてるから「みんなを手伝って」って言ったところ。</p> <p>B：自分は手伝った！</p> <p>C：わかった、わかった。<u>①そのもめごとを解決したいんだけど、話に入らせてもらってもいいかな？</u></p> <p>A：うん、いいけど。</p> <p>B：いいよ。</p> <p>C：よかった。一緒に解決していく時、3つルールがあるけど、聞いてくれる？ <u>②1つめは、正直に自分の気持ちを話す。</u> <u>③2つめは、しっかりと相手の話を聞く。</u> <u>④3つめは、相手の話を決してさげざらさない。できる？</u></p> <p>A B：わかった。</p> <p>C：よかった。<u>⑤この3つのルールを守って、話を聞かせてね。</u> <u>⑥どっちから話を聞こうかな。</u></p> <p>A：Bさんからでいいよ。</p> <p>C：Bさん、話を聞かせてもらっていいかな？</p> <p>B：自分はやるべきことやったのに、Aさんが「おしゃべりしないで手伝って！」と言い出して…</p> <p>A：(Bの話に割り込むように)<u>⑦だって、ずっと座ってしゃべってたよね！</u></p> <p>C：あっ、Aさん、Bさんちょっと待って。 ルール2つめは、しっかりと相手の話を聞く。 3つめは、相手の言葉を決してさげざらさない。 Aさん、ちょっと待っててくれる。 <u>⑧その言いたかったことや気持ちを覚えていてね。</u></p> <p>A：わかった。</p>	<p>① A、B の了解を得る。</p> <p>※話し合いのルールの合意を得る。(Agree) (ルールは左記の②～④)</p> <p>⑤ 聞き合う (Listen)</p> <p>⑥ A、B が決める</p> <p>⑦ ルール違反の場合、AL's の法則を再確認する。</p> <p>⑧ 「感情の受けとめ」は、解決にとっても重要。</p>

C : ⑨ ありがとう。じゃあ、Bさん続きを聞かせてね。

B : 自分はやるべきことやったのに、Aさんが急に怒り出してきた。

C : ⑩ Bさんはやるべきことをやったのに、Aさんが「おしゃべりしないで手伝って」って怒り出したってことかな。

それについてAさんはどう思う？

A : まだクラスの準備が終わっていないから手伝ってって言ったの。
怒ってはいない。

C : 怒って言ってはいないってことだね。それについてBさんはどう思う？

B : 怒っていないことはわかったけど、そんな言い方されたくないな。

C : ⑪ Bさんはそんな言い方はされたくないってことだね。

それについてAさんはどう思う？

A : 私が早く帰りたいから、少し強く言ったかもしれない。
Bさん、ごめんね。

C : Aさんは強く言ってごめんねって言っているけど、Bさんはどう思う？

B : 自分はみんなのことを考えてなかったかもしれない。

C : お互いの気持ちはよくわかったみたいだけど、⑫ どうしようか？

A : できればBにも手伝ってほしいな。

B : わかった。飾りつけを手伝おうかな。

C : じゃあ、2人が言ったようにやってみようか。

A : Bさん、〇〇祭、がんばろうね！

B : Aさん、〇〇祭、成功させようね！

⑨ 素直に待ってくれた時に「ありがとう」声をかけると、ルールを守る意識が芽生える。

⑩ 調停人CはBの内容を「繰り返し」をして確認させる。

⑪ 「感情」を受けとめる。

⑫ 調停人Cは解決策を言わない。
解決策はA、Bが決める。